

IDNo.	号数	年 月	著 者	題 目	ページ	備 考
776	346	H16. 9	宇田川 武 久	砲術史からみた鉄砲の伝来	05～13	第 346 特別号
777	346	H16. 9	安田 修・小笠原 信夫・峯田 元治	大垣藩の田付流鉄砲流派について(共著)	14～31	
778	346	H16. 9	霜 礼次郎	中島流とその砲術型	32～39	
779	346	H16. 9	島 津 兼 治	森重流砲術	40～47	
780	346	H16. 9	峯 田 元 治	幕末の大砲について—青銅の鑄造砲—	48～56	
781	346	H16. 9	小 西 雅 徳	西洋流砲術の導入とその終焉	57～60	
782	346	H16. 9	斉 藤 努	鉄砲の材質と製作技法の自然科学的調査	61～65	
783	347	H16. 11	今 津 浩 一	ペリー提督が幕府へ贈った大砲	01～19	
784	347	H16. 11	磯 村 照 明	閉塞型ペーパー・カートリッジ	20～33	
785	347	H16. 11	峯 田 元 治	和製 COLT NAVY 伝小栗上野介遺品の拳銃	34～44	
786	347	H16. 11	安田 修・磯村照明	西南戦争に使用した弾薬運搬函について	45～63	共著
787	347	H16. 11	峯 田 元 治	彦根城博物館蔵 砲術史料 香山又蔵 文書三通	14～01	
788	348	H17. 3	磯 村 照 明	千葉市立郷土博物館に寄贈された弾薬類 の鑑定	01～05	
789	348	H17. 3	中 原 正 二	炸薬の変遷 —ピクリン酸から…CL-20?—	06～21	
790	348	H17. 3	山 田 太 郎	日本海軍横須賀工廠造兵部年表	22～30	
791	348	H17. 3	佐 藤 進	「鉄砲をすてた日本人」ノエル・ペリン 著(中公文庫) —現代技術論で読む試み—	31～45	
792	348	H17. 3	今 津 浩 一	ペリー艦隊が贈った大砲の教科書 —献辞と鉛筆書きメモの謎を読み解く—	46～56	
793	348	H17. 3	山 田 太 郎	日本海軍佐世保工廠造兵部年表	57～66	
794	349	H17. 6	小 西 雅 徳	高島秋帆と徳丸原洋式調練	01～13	
795	349	H17. 6	梶 原 利 夫	日本の鑄鉄砲破裂の原因(佐賀藩の事例)	14～18	
796	349	H17. 6	磯村照明・安田修	愛知県刈谷市・旧家の洋式銃調査	19～36	共著
797	349	H17. 6	青 木 孝	「肩へ銃」 幕末歩兵の基本姿勢	37～50	
798	349	H17. 6	安 田 修	鉄砲運搬・保管箱について	51～61	図形作成 峯田 元治
799	349	H17. 6	磯村照明・峯田元治	ペリンの拳銃弾	62～71	共著 技術協力 梶原 利夫
800	350	H17. 10	山 田 太 郎	日本海軍川棚工廠年表	03～06	
801	350	H17. 10	山 田 太 郎	日本海軍舞鶴工廠造兵部年表	07～16	
802	350	H17. 10	中 原 正 二	ニトロセルロースの忘れられた用途 —人類初の〇〇〇—	17～22	
803	350	H17. 10	峯 田 元 治	—幕府 内海台場大砲製造— 鑄物師 釜屋六右衛門の系譜	23～31	
804	350	H17. 10	岡 崎 清	佐久間象山の砲学図編	32～42	
805	350	H17. 10	峯 田 元 治	第 357 回日本銃砲史学会 7 月例会の報告	43～44	第 357 回日本銃砲 史学会 7 月例会 (第 1 回地方大会) 会場 新城市設楽原
806	350	H17. 10	宇田川 武 久	鉄砲と合戦	45～53	
807	350	H17. 10	小 林 芳 春	「長篠・設楽原の戦い」の検証 柵際の 戦いは、「鉄砲計」の戦い	54～60	
808	350	H17. 10	夏 目 利 美	台地の遺構は陣城か	13～01	